

# 農業



平成29年4月号  
会誌 No. 1624

## 目次

### 巻頭言

創立126年目の東京農大……………高野 克己 3

### 論 壇

AIの先に見えるもの……………難波 成任 4

### 農業懇話会

和郷園における6次産業化の取り組みと今後の方向……………木内 博一 6  
質疑応答…………… 25

### 寄稿

サツマイモブームの現状と展望……………狩谷 昭男 29

### 研究の最前線

バレイシヨ澱粉特性の解明と製品開発……………野田 高弘 37

### 農業・農村の現場から

もち食文化伝承から地域活性化へ……………熱海 淑子 47

### 世界の農業は今

コメ輸出大国ベトナムの農業政策……………岡江 恭史 52

### 私の経営と志

農福連携の実現に向けて……………加勢 健吾 55

東京農業大学収穫祭から (第3回)

農業と消費者を繋ぐ空間<sup>マルシェ</sup>…………… 農友会 村の会部 57  
- 価値を伝える最先端農業 -

表彰

平成28年度大日本農会賞の受賞者…………… 62  
付：大日本農会と東京農業大学の関係  
第56回全国青年農業者会議  
プロジェクト発表・農業青年の意見発表等受賞者…………… 66

飼料用米多収日本一

「平成28年度 飼料用米多収日本一」受賞者…………… 68

農政情報

大日本農会だより…………… 70

編集部から…………… 70

ミニ情報

「初音ミク」と日本各地の食を旅する動画配信スタート…………… 28  
地理的表示保護制度(GI)に基づき登録された特定農林水産物(5)…………… 54

表紙写真説明

完熟マンゴーの鉢植え栽培 (鹿児島県曾於郡大崎町)

大崎町は鹿児島県の東南部、大隅半島に位置し、南部は志布志湾に面し、そこから北部にかけて広大な台地が広がっている。志布志湾に面した大崎海岸は全長7 km に及ぶ白砂青松の海岸で、防風林として数百万本ともいわれるクロマツが広がり、環境省及び県の絶滅危惧種に指定されているアカウミガメの上陸産卵地となっている。

本誌平成27年10月号で紹介した、平成26年度農事功績者表彰の受章者、大崎町の安田静男さんは、平成13年にメロン栽培から、鉢植えによる完熟マンゴーの栽培に転換し、ご家族でマンゴー等の生産と農産物直売所経営との複合経営を展開している。

安田さんは国内産のマンゴーとして有名な宮崎県の知人から勧められて、沖縄からマンゴーの苗を取り寄せ、自力で鉄骨のハウスを建て、規模拡大を図ってきた。品目転換前に栽培していたトマトやメロンでの経験から糖度の高いマンゴーを生産するために鉢植えし、完熟マンゴー生産に取り組んでいる。

一枝に1個ずつ、色づいたマンゴーに網袋をかぶせ、ひもでつるし、枝から自然と離れた完熟マンゴーが収穫される。収穫されたマンゴーは非破壊糖度センサーで糖度と重量を測定して分けられ、1個ずつに糖度保証シールが貼られ出荷される。(編集部)